

行程表およびルート図（4月25日）

[行程表]

時間	場所	
9:00	名古屋駅(集合)	銀の時計
10:15 ~ 11:00	① 新丸山ダム	丸山ダム展望台
11:30 ~ 11:40	② 今渡ダム	木曾川左岸70.6k付近
11:50 ~ 12:00	③ 太田橋	木曾川右岸69.2k付近
12:00 ~ 12:45	④ 昼食	美濃加茂市内
12:50 ~ 13:20	⑤ 中濃大橋～犬山橋	木曾川右岸63.8k付近
13:30 ~ 13:50	⑥ 犬山橋上流	木曾川右岸58.4k付近
	⑦ 犬山頭首工	木曾川56.8k付近
14:20 ~ 15:00	⑧ 三派川地区センター	138タワー
15:30 ~ 15:45	⑨ 木曾川大堰	木曾川26.0k付近
16:00 ~ 17:00	⑩ 意見交換会	尾西グリーンプラザ
17:20	尾張一宮駅(解散)	

[ルート図]



注) 行程に関しましては、交通事情や視察の状況等により、若干時間が変更になる場合があります。

4/25 ①新丸山ダム

丸山ダムの概要

丸山ダム：国土交通省・関西電力㈱

(管理開始：昭和29年【約50年経過】)

水系名：木曾川水系木曾川

所在地：岐阜県加茂郡八百津町・可児郡御嵩町

目的 ・洪水調節
・発電

堤高 98.2m(ダム天端標高
EL.190.0m)

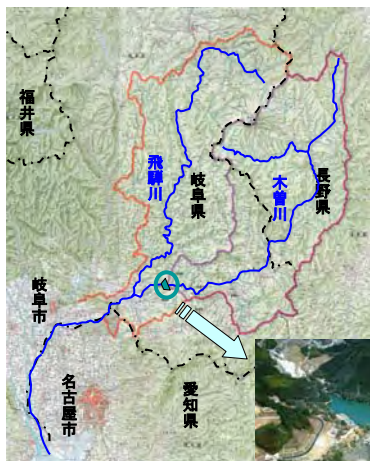
堤頂長 260.0m

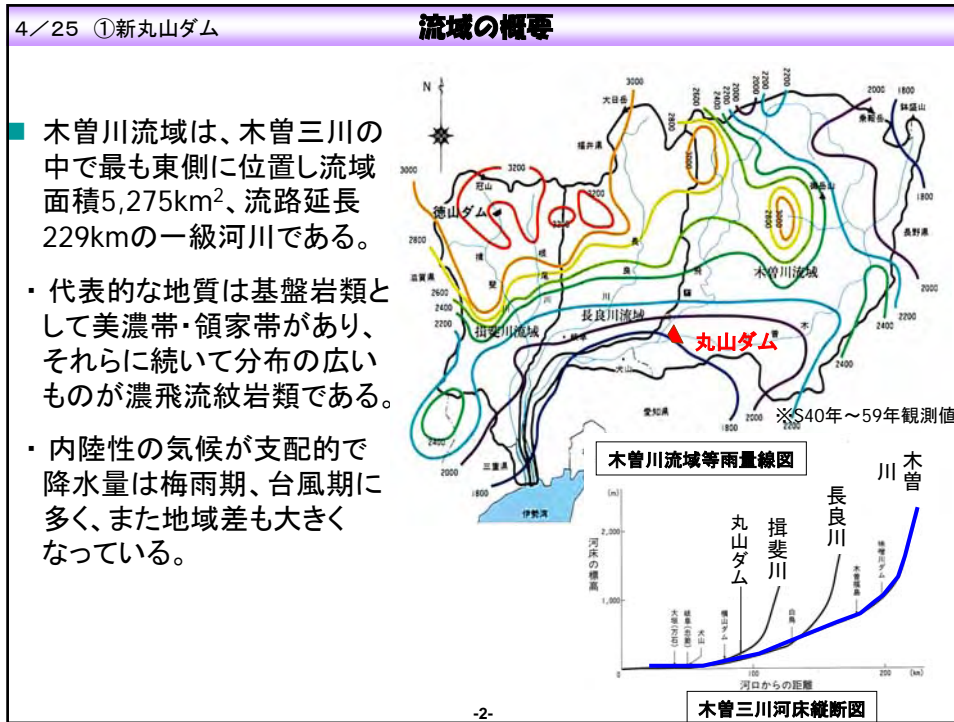
流域面積 2,409.0km²

湛水面積 2.63km²

総貯水量 79,520千m³

※現在直下流において新丸山ダム
建設事業が進められている





4/25 ①新丸山ダム

事業の経緯

■ 木曾川流域では直轄河川工事が明治20年から始められた。

■ 昭和24年に治水調査会の審議を経て犬山地点における基本高水流量を14,000m³/s、計画高水流量を12,500m³/sとし、1,500m³/sを上流ダム群により調節することとした。

■ 丸山ダムは昭和26年に着工し、昭和29年に洪水調節、及び発電事業を開始した後、昭和31年に全工事が完成した。

年月	事業内容
昭和13年7月	梅雨前線豪雨により、木曾川に大洪水発生(丸山ダム計画波形洪水)
昭和18年10月	日本発電(株)により着工
昭和19年5月	太平洋戦争により工事中止
昭和26年5月	関西電力(株)が事業継承
昭和26年9月	本格的に工事着工
昭和28年12月	建設省(現国土交通省)と関西電力との間でダム建造に関する基本協定締結
昭和29年7月	建設省(現国土交通省)による管理開始
昭和31年3月	丸山ダム全工事完成

ダム建設前

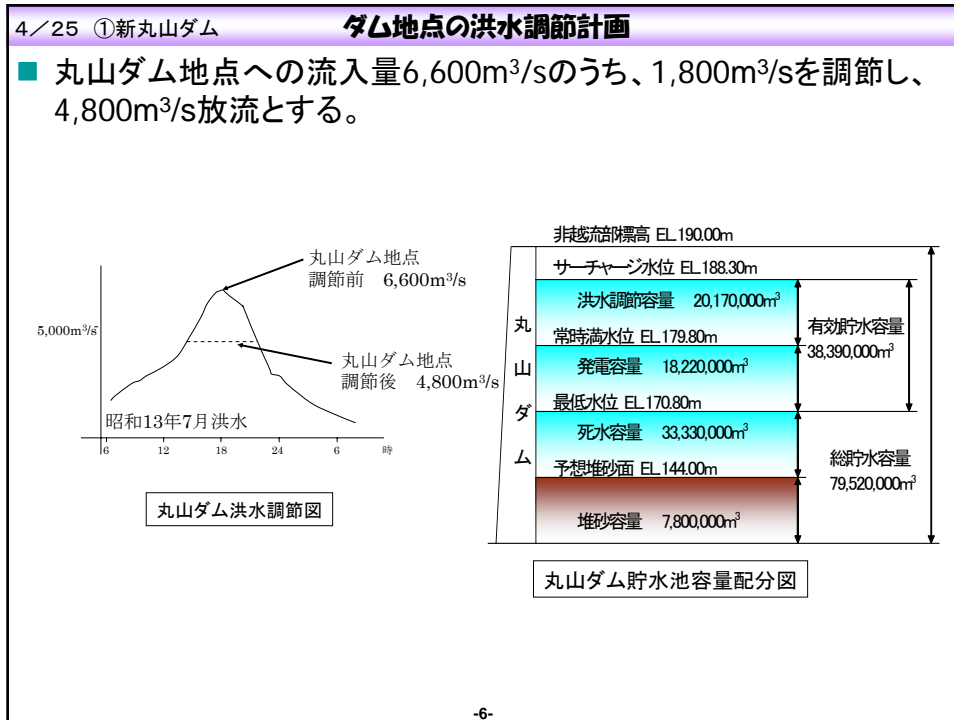
ダム建設中

竣工

-3-

4/25 ①新丸山ダム 管理開始以降における主な洪水		
<p>■ 昭和58年9月の台風10号による洪水は計画規模を大幅に上回る洪水であり、ダム下流部の美濃加茂市において市の中心部が浸水したのを始めとし、可児市、坂祝町、八百津町等において甚大な被害が発生し、浸水戸数は全体で約4,600戸に及んだ。</p>		
木曾川流域の主な洪水被害		
発生年月日	洪水流量	被害の状況
S. 34. 9. 27 伊勢湾台風	-	美濃加茂市、羽島市他1市5町において、被災家屋2,389棟
S. 36. 6. 27	約11,000m ³ /s (鶉沼)	可児市、兼山町、美濃加茂市、笠松町において、浸水面積500ha、被災家屋749棟
S. 45. 6. 16	約8,700m ³ /s (犬山)	美濃加茂市、笠松町、祖父江町において、浸水面積226ha、被災家屋181棟
S. 51. 9. 9	約8,600m ³ /s (犬山)	美濃加茂市、笠松町、祖父江町において、農地浸水面積73ha、被災家屋911棟
S. 58. 9. 28~29	約14,000m ³ /s (犬山)	犬山市、美濃加茂市他2市3町において、農地浸水面積342ha、被災家屋4,622棟

4/25 ①新丸山ダム 管理開始以降における主な出水	
<p>昭和58年9月洪水状況</p>  <p>美濃加茂市御門町地内</p>	 <p>中部の豪雨禍 一夜明けツメ跡 無残 廃虚の街美濃加茂 家の中まで土砂の山 前めでた 古老もほう然 282戸が浸水被害</p>
 <p>美濃加茂市役所玄関ロビー</p>	



4/25 ①新丸山ダム **洪水調節実績**

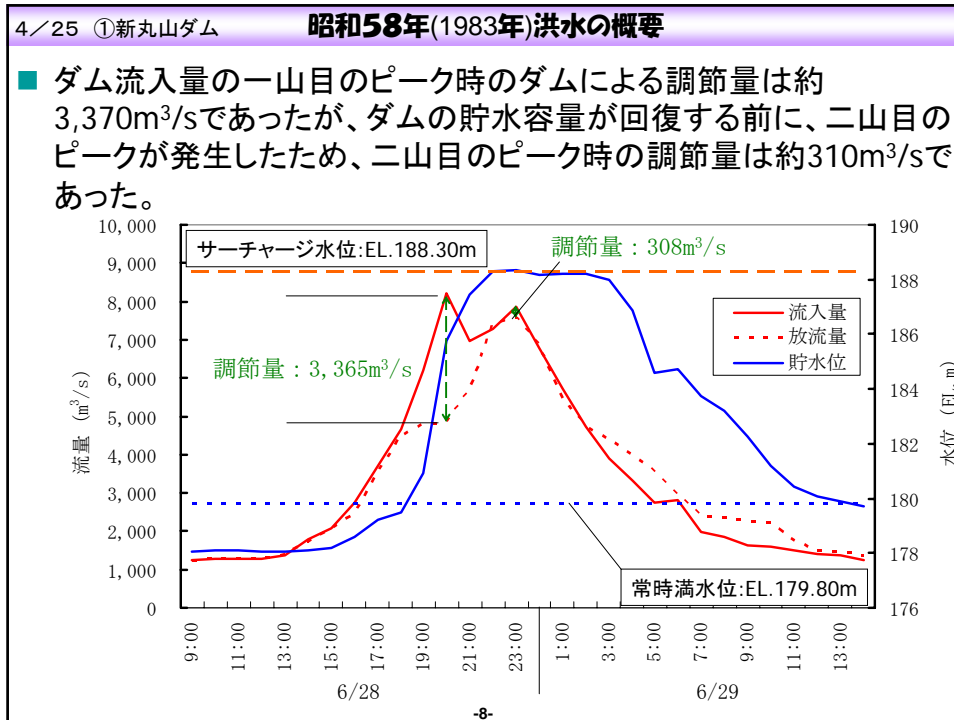
■ 丸山ダムは、洪水調節操作開始以降(S29年7月以降)、5回(1回/10年)の洪水調節を行った。

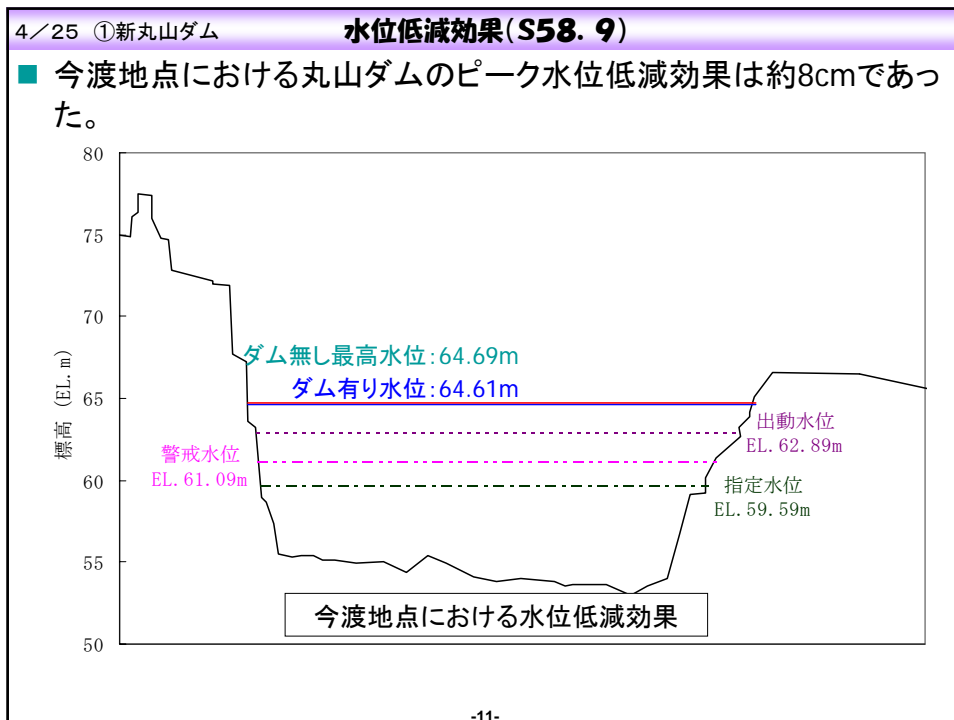
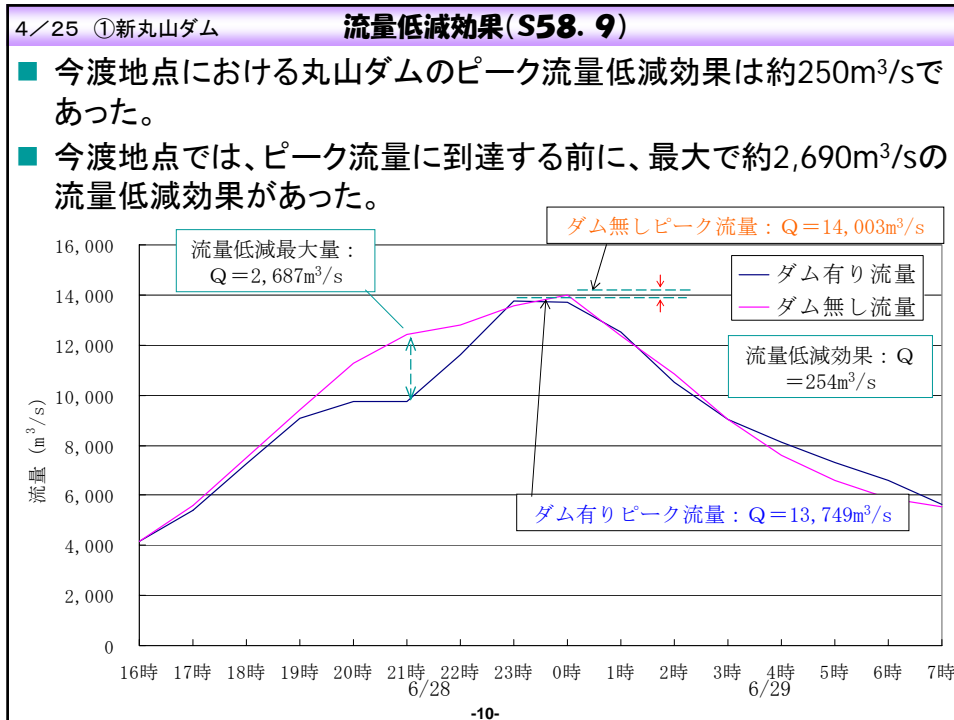
■ 既往最大流入量を記録した昭和58年9月28日洪水は最大流入量: 8,217m³/s、最大放流量: 7,835m³/sであった。

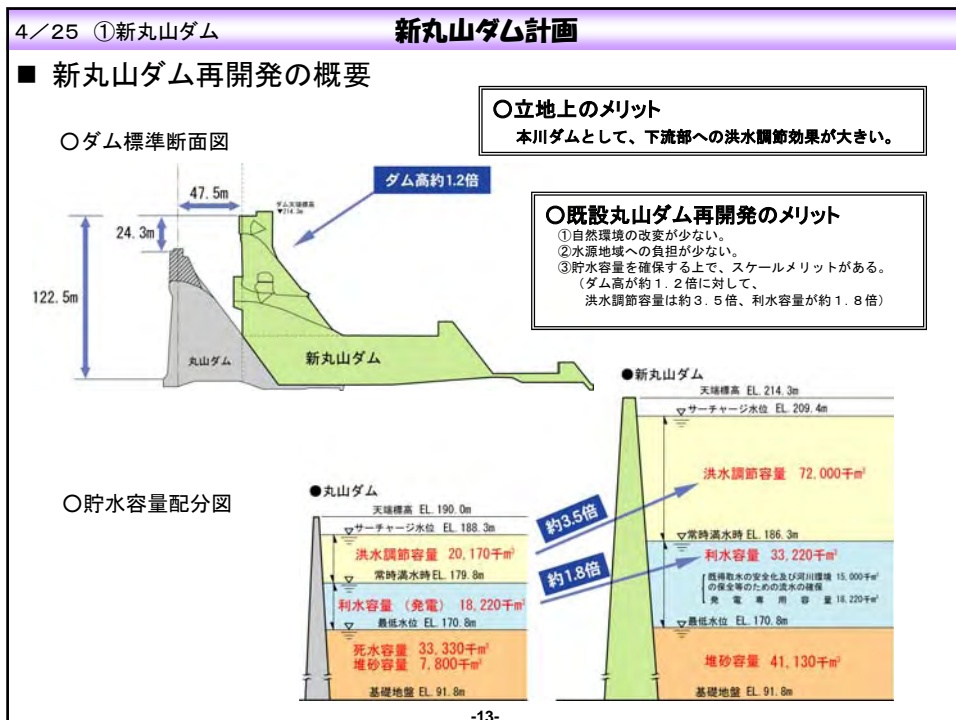
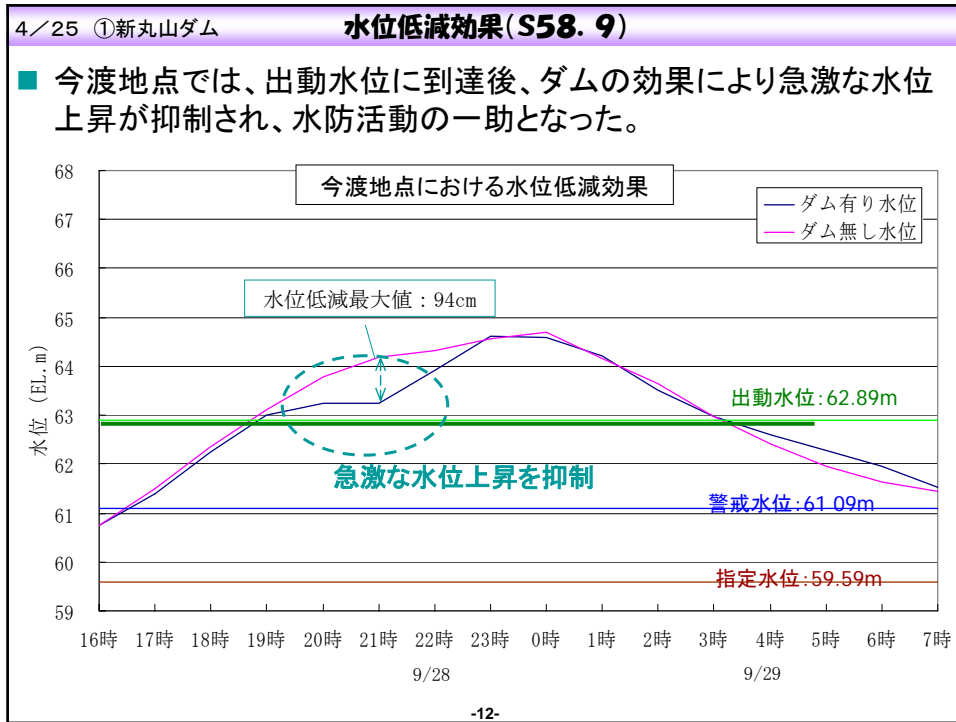
洪水調節実績一覧

番号	年月日	洪水原因	A 最大流入量 m ³ /s	B 最大流入時放流量 m ³ /s	C=A-B 調節量 m ³ /s	C/A 調節率 %	備考
1	S36. 6. 27	梅雨前線	4,976	4,792	184	3.7	
2	S39. 9. 25	台風20号	6,043	4,774	1,269	21.0	
3	S47. 7. 13	梅雨前線	5,717	4,709	1,008	17.6	
4	S58. 9. 28	台風10号	8,217	4,852	3,365	41.0	ただし書き操作を実施
5	H11. 6. 30	梅雨前線	5,148	4,719	429	8.3	

-7-








4/25 ①新丸山ダム **新丸山ダム計画**

■ 新丸山ダムの3つの目的




1

洪水調節

木曾川を洪水から守り、地域の安全性を向上します。

$$Q_{in} - Q_{cut} = Q_{out}$$


$$10,000\text{m}^3/\text{s} - 4,300\text{m}^3/\text{s} = 5,700\text{m}^3/\text{s}$$



2

既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保

木曾川を渇水から救い、清らかな流れを目指します。



3

発電

地域環境に優しいクリーンなエネルギー(水力発電)をさらに生み出します。


$$\text{現況最大出力} + \text{増分最大出力} = \text{合計最大出力}$$

$$188,000\text{kw} + 22,500\text{kw} = 210,500\text{kw}$$

-14-

4/25 ①新丸山ダム **新丸山ダム計画**

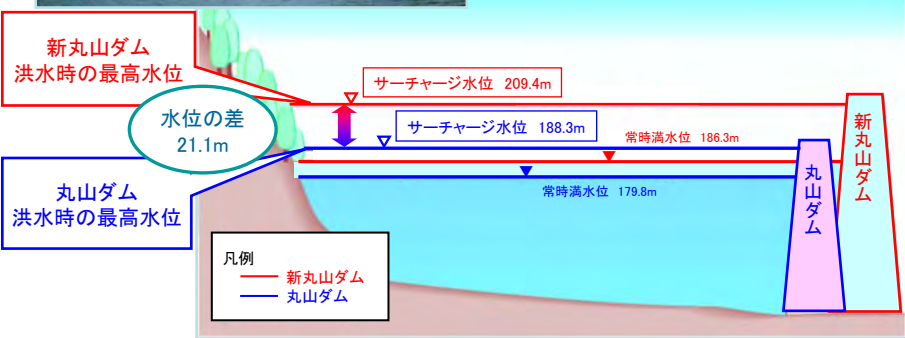
■ 新丸山ダム完成後の貯水池



新丸山ダム常時満水位

現在の丸山ダム湖

洪水時、新丸山ダム湖の最高水位は、丸山ダムより21.1m上昇します。
一方、平常時では、現状より6.5m水面が上昇する程度で、ダム湖の景観は、現状とあまり変わりません。



新丸山ダム 洪水時の最高水位

サーチャージ水位 209.4m

サーチャージ水位 188.3m

常時満水位 186.3m

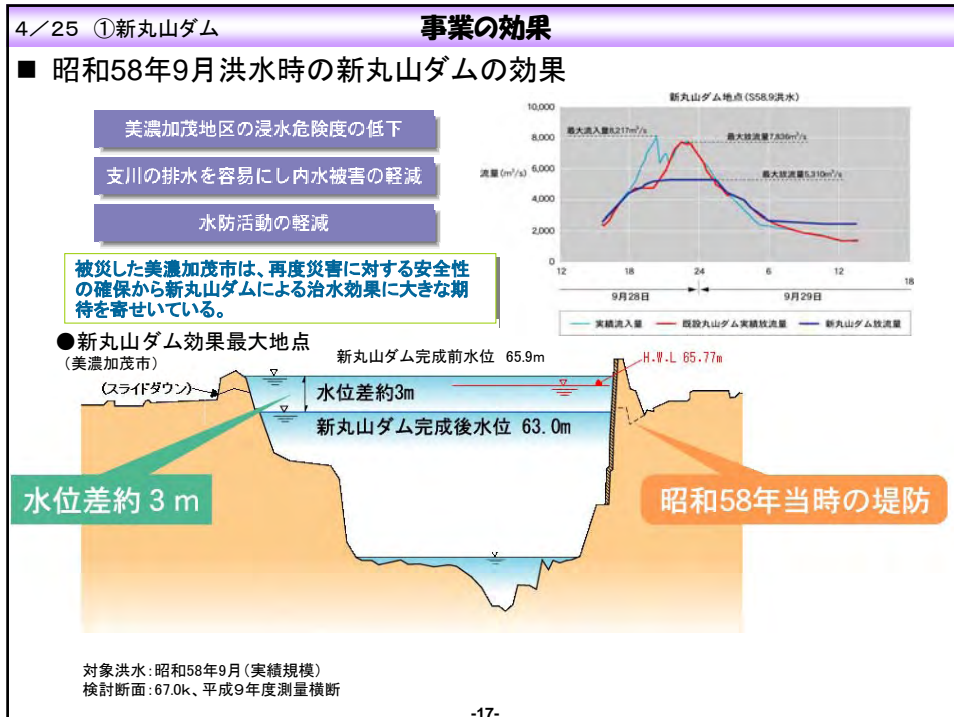
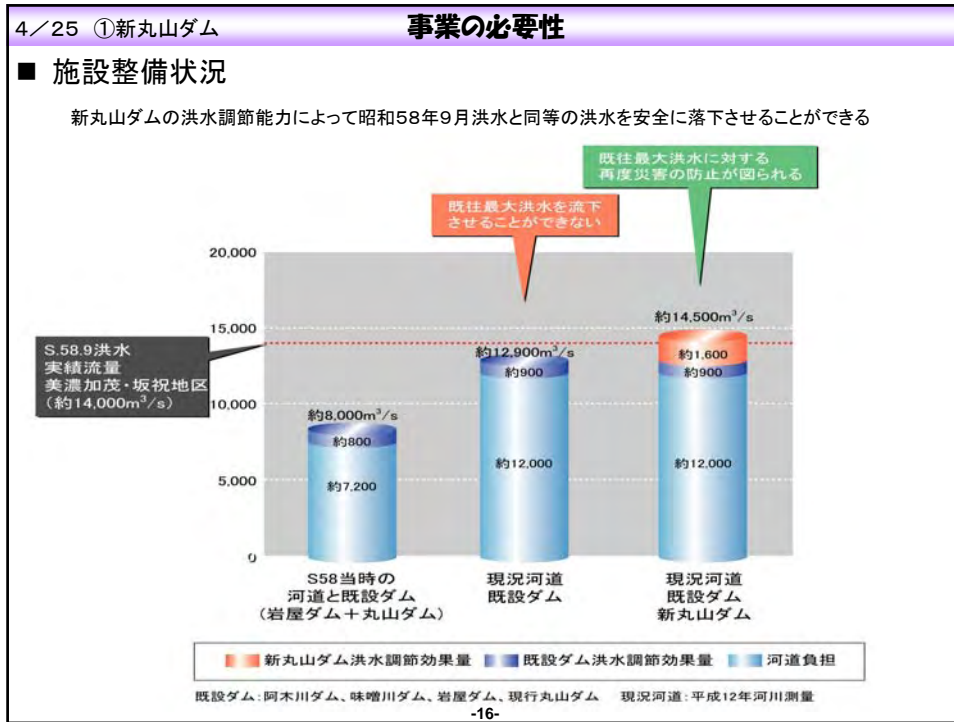
丸山ダム 常時満水位 179.8m

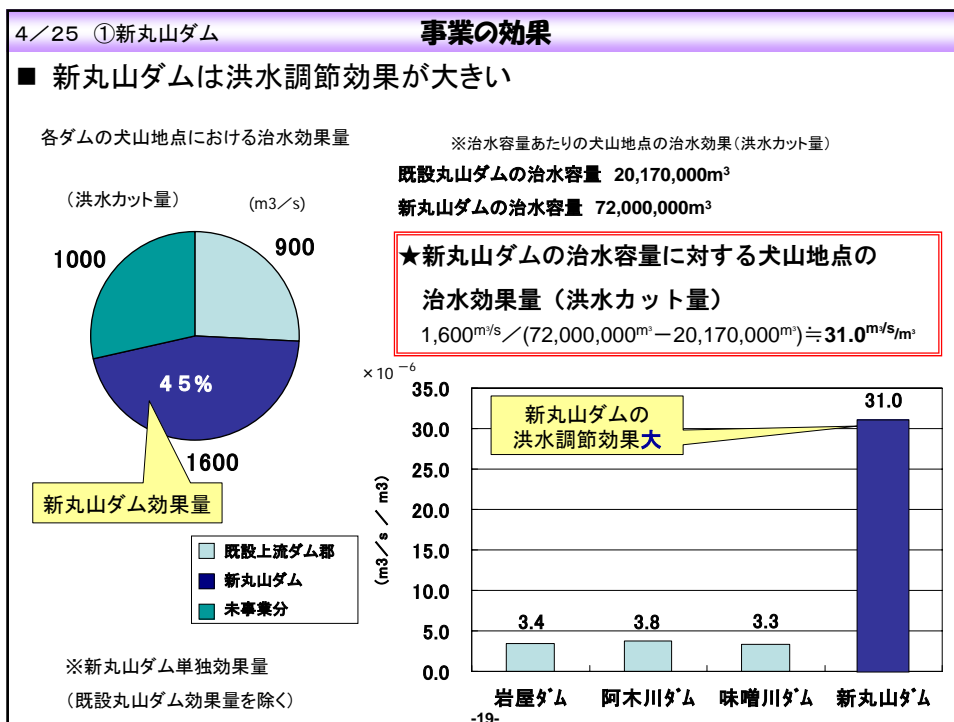
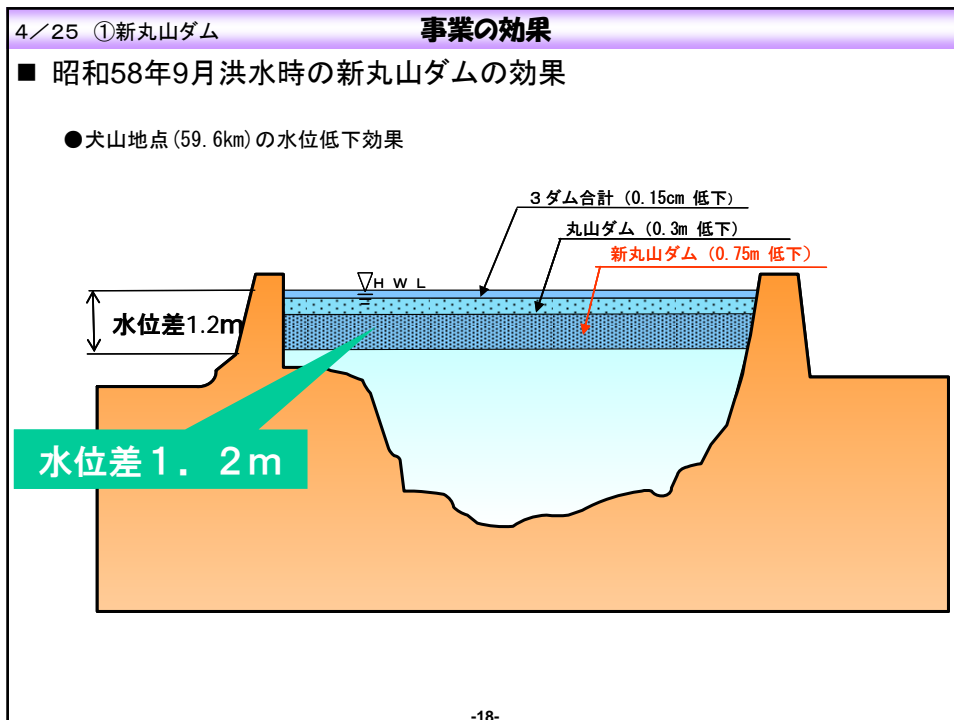
丸山ダム 洪水時の最高水位

水位の差 21.1m

凡例
— 新丸山ダム
— 丸山ダム

-15-





4/25 ①新丸山ダム 事業の効果

■ 渇水による影響の軽減

近年の渇水被害

発生期間	被害市町村	最大取水制限等の状況
H5.6.4~6.28 (25日間)	名古屋市他 22市12町	上水15%、工水20%、農水20%
H6.6.1~11.13 (166日間)	名古屋市他 22市12町	上水35%、工水60%、農水65% 8月上旬に牧尾、岩屋、阿木川ダム枯渇
H7.8.22~H8.3.18 (210日間)	名古屋市他 22市12町	上水22%、工水44%、農水44%
H8.5.31~6.25 8.14~8.16 (29日間)	名古屋市他 22市12町	上水20%、工水20%、農水20%
H9.6.24~6.30 (7日間)	名古屋市他 22市12町	上水5%、工水10%、農水10%
H11.6.17~6.25 (9日間)	名古屋市他 22市12町	上水5%、工水10%、農水10%
H12.5.30~6.28 7.27~9.12 (78日間)	名古屋市他 22市12町	上水25%、工水50%、農水65%
H13.5.2~6.25 7.23~10.28 (143日間)	名古屋市他 22市12町	上水20%、工水40%、農水40%
H14.6.25~7.15 8.16~10.8 (75日間)	名古屋市他 22市12町	上水20%、工水40%、農水40%
H16.7.30~8.31 (33日間)	名古屋市他 22市12町	上水15%、工水30%、農水30%
H17.5.24~7.15 8.6~9.7 (93日間)	名古屋市他 22市12町	上水25%、工水45%、農水50%
H18.2.27 (91日間)	名古屋市他 22市12町	上水20%、工水40%、農水40%


※被害市町村数は、合併前の市町村数でカウント

平成6年の大渇水による被害額

企業(工業被害) 約325億円

農業被害 約6億円

(出典:水資源開発分科会木曾川部会資料より)



平成6年8月5日 牧尾ダム 貯水量 0m³ 貯水率 0%

平成6年8月5日 岐阜新聞

4/25 ①新丸山ダム 事業の経緯

■ 事業の歩み



補償基準妥結調印式 (H4. 3)

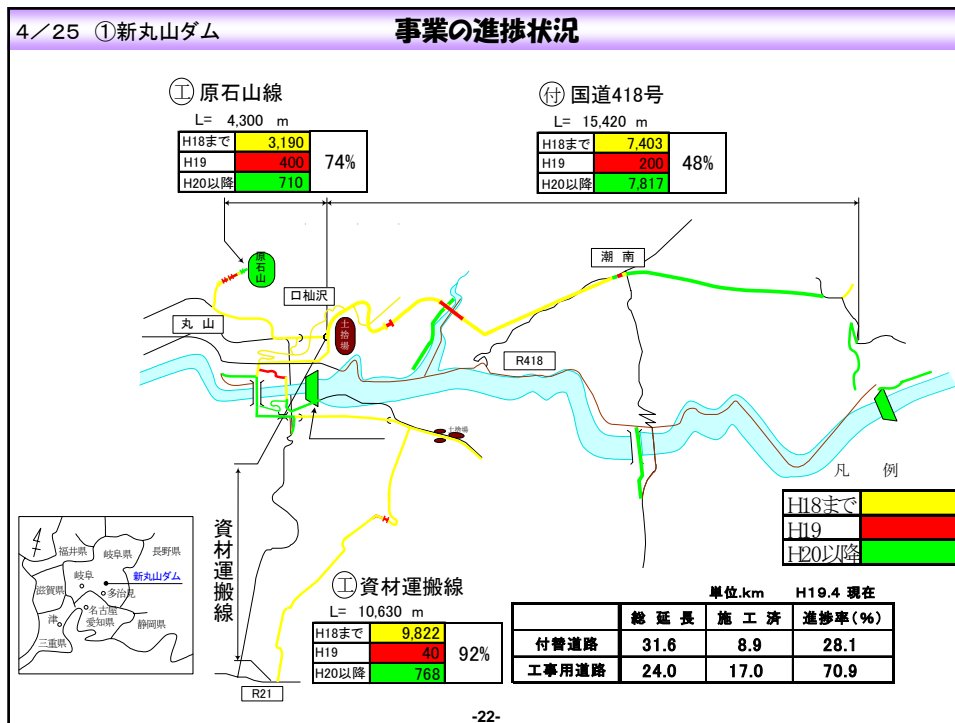


八百津バイパス開通式 (H6. 4)



大久後トンネル (H18. 3)

1956	昭和31年3月	丸山ダム完成
1980	昭和55年4月	実施計画調査着手
1983	昭和58年9月	台風10号による大災害(美濃加茂市等災害)
1986	昭和61年4月	嵩上げ建設事業着手丸山ダム工事事務所開設
1988	昭和63年4月	新丸山ダム工事事務所に名称変更
1990	平成2年3月	水源地域対策特別措置法に基づくダム指定
1990	平成2年5月	新丸山ダム基本計画決定
1992	平成4年3月	新丸山ダム補償基準妥結調印式
1992	平成4年8月	水没地用地買収に着手
1994	平成6年1月	水源地域整備計画決定
1996	平成8年7月	新丸山ダム建設促進期成同盟会新組織設立
2000	平成12年12月	家屋移転補償契約が49戸全て完了
2003	平成15年3月	基本計画変更 愛知・岐阜・三重3県同意
2003	平成15年7月	中部地方整備局事業評価監視委員会にて事業の継続が承認される
2005	平成17年6月	新丸山ダム基本計画変更(第1回)告示
2006	平成18年3月	工事用道路資材運搬線大久後トンネル供用開始
2007	平成19年3月	国道418号新旅足橋(仮称)上部工工事着手





4/25 ⑤中濃大橋～犬山橋 **名勝「日本ライン」とライン下り**

- 名勝「日本ライン」として地元から親しまれており、太田橋～犬山橋の間では日本ライン下りが行われている。
- 平成6年洪水時には河川の水量不足により運休となった。



位置図



H6洪水時流況(62.0k 付近)



H6.8.29
中日新聞



日本ライン下りの風景

-26-

4/25 ⑤中濃大橋～犬山橋 **木曾川水系連絡導水路**

- 木曾川連絡導水路事業は、徳山ダムに確保した容量を用いて異常洪水時の緊急水補給による河川環境の改善等及び新規利水の補給を目的に平成18年度に実施計画調査に着手した。



-27-

4/25 ⑥犬山橋上流 **木曾川基準地点(犬山)**

- 洪水を防ぐための計画を作成するとき、代表となる地点。
- この地点で基本高水のピーク流量や計画高水流量を定め、その河川の改修計画が作成される。

-28-

4/25 ⑦犬山頭首工 **犬山頭首工**

- 犬山頭首工は愛知・岐阜県にまたがる濃尾平野の水田、畑地にかんがいするための取入施設で、昭和38年度に築造され、濃尾用水として最大約51m³/sを取水、その他上水、工水等を合わせ最大約71m³/sを取水。

-29-

4/25 ⑧三派川地区センター **三派川地区**

■三派川地区は、大正改修によって現在の流路となった。また、木曾川左岸には江戸時代に築造された御囲堤が二線堤として現存している。

各務原市 河川環境楽園 北派川 本川 南派川 一宮市 御囲堤 138タワー 新堤 旧堤

-30-

4/25 ⑧三派川地区センター **河川環境楽園**

■国営公園、岐阜県営公園、自然共生センター、東海北陸自動車道・川島パーキングエリアから構成された環境共生型テーマパーク。

北派川 本川

凡例
 河川環境楽園 (Red)
 国営公園 (Green)
 岐阜県営公園 (Yellow)
 自然共生センター (Blue)
 東海北陸自動車道 (Yellow)

-31-

4/25 ⑧三派川地区センター **樹木の変遷(木曾川橋下流)**

■ 近年、樹林化が進行している。

地点	木曾川 (%)	長良川 (%)	揖斐川 (%)
S55	10	5	3
H4	25	10	10
H8	18	10	15
H14	35	12	10

樹林地面積の変遷 ※上流管内の集計値

木曾川笠松(39km)付近の状況

-32-

4/25 ⑧三派川地区センター **水面利用規制等**

■ 河川利用が盛んな一方、事故等のトラブルも多い。このため、自治体・警察・漁協等とともに協議会を設置し、水面利用のルールを策定

水上バイクなどの利用規制区間 木曾川

ウォーターエアーの使用は、まれにみられますへ

- 河川の汚染が防止されないこと
- 漁業関係者の被害が生じないこと
- 土砂の流出や増水、河床の劣化など
- 川を汚染、または他人の邪魔が生じないこと
- 安全確保に努めること
- 水産物や水質汚濁に配慮すること

注意! 注意事項が守られない場合、将来的に利用できなくなる可能性があります!

川はみんなのもの。ルール・モラルを守りましょう!

水上バイクの運航規制区間 長良川

ウォーターエアーの使用は、まれにみられますへ

- 河川の汚染が防止されないこと
- 漁業関係者の被害が生じないこと
- 土砂の流出や増水、河床の劣化など
- 川を汚染、または他人の邪魔が生じないこと
- 安全確保に努めること

川はみんなのもの。ルール・モラルを守りましょう!

※資料は、長良川水系水産資源利用協議会事務局(国土交通省木曾川上流河川事務所)事務局ホームページ<http://www.cbr.mlit.go.jp/kojiji/>

-33-

4/25 ⑧三派川地区センター **水辺プラザ環境整備事業(一宮)**

■ 地域の個性、水辺の魅力を活かし、地域の交流の拠点となる水辺プラザの整備を実施中。





緩傾斜堤の整備【国】 **遊歩道の整備【市】**

【現在の状況】 【事業実施後のイメージ】

一宮地区水辺プラザ整備事業
(愛知県一宮市)

4/25 ⑧三派川地区センター **羽島防災ステーション**

災害時の活動拠点となる河川防災ステーション等の整備を実施
木曾川上流では現在、羽島防災ステーションと大垣防災ステーションの整備を実施中







●	国交省河川事務所
▲	国交省河川事務所出張所
●	河川防災ステーション等(整備済)
●	河川防災ステーション等(整備中)
●	河川防災ステーション等(構想)
●	防災船着場(整備済)
◆	防災船着場(構想)
—	舟運路(構想)
—	緊急河川敷道路(整備済)
—	緊急河川敷道路(将来計画)

大垣防災ST (揖斐川右岸36.0k)

羽島防災ST (木曾川右岸28.8k)

河川防災ST (木曾川左岸22.8k)

防災船着場 (長良川左岸12.4k)

4/25 ⑨木曾川大堰 **木曾川大堰**

■木曾川大堰下流に位置する木曾成戸地点は、ダム計画における利水の基準地点となっている。

羽島市 木曾川大堰 木曾川 木曾成戸 26.0k 稲沢市 長良川

-36-

地域との連携

■地域住民やNPO等と河川管理者との連携を推進している。

クリーン大作戦（揖斐川）
（平成11年より実施）

木曾三川フォーラム
（平成11年発足）

長良川環境レンジャーの活動
（平成10年設立）

河川愛護モニター制度（昭和50年に制度化）

- ・河川監視体制の強化、河川愛護思想の普及啓発のため、河川愛護モニターを一般から公募
- ・日常生活の範囲内で知り得た情報等を河川管理者に伝える事が主な活動
- ・活動範囲は、河川環境その他の地域の実情に応じて、概ね3kmから5km当たりを標準として活動区域を指定

川の通信簿の実施状況
（平成14年より実施）

-37-